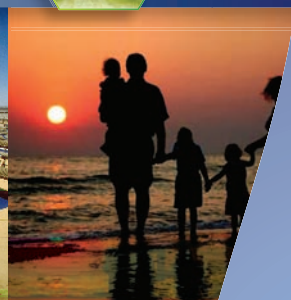


CTI PFAN  
アジア・クリーンエネルギー・  
ファイナンス・フォーラム  
(AFCEF-3)  
事業計画コンペティション



応募締め切り  
2012年9月24日

- 1 はじめに
- 2 コンペティション・ガイドライン
- 3 選考基準
- 4 スケジュール
- 5 産業エキスパート
- 6 審査員
- 7 表彰
- 8 よくある質問
- 9 関係実施機関

**参加申請書**

## スポンサー及び実施関係機関

資金提供者:



協力機関・イベントパートナー:



## 1. はじめに

「世界は今、エネルギー需要の急増、温室効果ガスの排出増加、資源供給の逼迫という複合的な難題に直面しており、世界規模でのエネルギー技術革新が求められている。それは実現可能なものではあるが、乗り越えるべき壁は高く、単一のエネルギーあるいは技術で解決できるものではない」

2008年6月  
国際エネルギー機関(IEA)  
事務局長 田中伸男

**我**々と同様に、環境保全に熱意を抱く方々が多数いることでしょう。将来の環境問題を方向付けることができる聡明で革新的な構想を持ち、それを前進させ具現化するのはあなたかもしれません。

CTI（気候変動防止技術イニシアティブ）と傘下の CTI PFAN（民間資金調達支援ネットワーク）、および USAID（米国国際開発局）、ICETT（公益財団法人 国際環境技術移転センター）が推進する CTI PFAN アジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム（AFCEF-3）事業計画コンペティションは、有益な環境提案を行う起業家、新興 / 既存企業、プロジェクトチーム並びにコンソーシアムなどを育成し、このような組織や個人を投資家と結び付け事業の実現化を目指します。

AFCEF-3 事業計画コンペティションの二次選考に進むチームは、財務、社会、環境面において有望な事業計画を作成するための個別指導を受けます。そして、シンガポールで開催されるフォーラムで資金調達の要となる事業計画を投資家向けに発表する機会を得ます。よりクリーンでグリーンなプロジェクトに関心を持つ投資家、産業スペシャリスト、企業経営者から構成される審査員によって CTI アジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワードを表彰される最優秀案件が選定されます。

更に、アジア未来エネルギーフォーラム 2012 の下で、2012 年 10 月 23 日に開催されるシンガポール持続可能エネルギー協会（SEAS）の再生可能エネルギー投資フォーラムにおいて発表を行う機会が、4 件の選考プロジェクトに与えられます。

以上の過程を経て、事業開発者と投資家とのマッチングを促進することが AFCEF-3 の狙いです。事業構想をさらに進化させ、本フォーラムを事業実現のための有効な機会としてご活用ください。

## 2. コンペティション・ガイドライン

### 資格要件

アジア地域に拠点を置く、もしくは積極的に活動を実施し、登記している個人や企業等。同地域を拠点にした外国籍の個人や企業等による事業案件も対象となります。

### 事業の対象分野・技術

対象事業・プロジェクトは地球温暖化対策に資する技術や製品、サービスを提供するものとし、例として以下の分野が挙げられます。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ▪ 再生可能エネルギー利用   | ▪ エネルギー効率向上 / 省エネルギー |
| ▪ バイオマス / バイオガス | ▪ 森林保全・植林            |
| ▪ バイオ燃料         | ▪ 廃棄物からのエネルギー生成 / 回収 |
| ▪ 太陽光           | ▪ クリーン輸送             |
| ▪ 風力            | ▪ 水質向上、水の浄化          |
| ▪ 地熱            |                      |
| ▪ 水力            |                      |
| ▪ 潮力 / 波力（海洋発電） |                      |

適応技術に関するプロジェクトも対象案件とし、例として以下の分野が挙げられます

- |                            |
|----------------------------|
| ▪ 農業（農業関連産業及び農産物加工）        |
| ▪ マイクロファイナンス及びマイクロインシュアランス |
| ▪ 水と衛生                     |
| ▪ 適応技術関連の製品及びサービス          |
| ▪ 都市開発                     |
| ▪ エネルギー及びエネルギーアクセス         |
| ▪ 観光事業                     |

適応技術の情報については、次のURLを参照してください。[http://www.cti-pfan.net/events\\_detail.php?eventsid=39](http://www.cti-pfan.net/events_detail.php?eventsid=39)

### 応募事業内容

事業案件は以下の内容に沿うものとしませんが、これらに限定されません。

- ・ グリーンフィールド及びブラウンフィールドにおける公共施設プロジェクトと分散型発電プロジェクト
- ・ 新規ビジネス/ベンチャー
- ・ 川下(下流)事業: 既存のクリーンテクノロジーの展開
- ・ 川上(上流)事業の開発: 新クリーンテクノロジーの開発と商業化
- ・ 既存のクリーンエネルギー/テクノロジー事業に価値を付加する合併、買収、ジョイント・ベンチャー

事業計画にはプロジェクトが商業的及び技術的に実行可能であることが明示されるものとします。

### 事業規模

原則として、(初期)投資が100万米ドル以上(又は相当する他通貨額)での事業案件とします。

### 機密情報と守秘義務

実施機関は参加者の事業コンセプト及び計画についてその機密性を尊重し、それらをコンペティションで使用する以外の 目的で複製することはありません。審査員においても提出資料の守秘義務を認識し、同等の配慮が求められます。

参加チームにおいては、それが法的拘束力を有する合意でないことを承知の上で、提出物の表紙に下記の免責条項を記載できません。

「本事業計画は部外秘であり、CTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFCEF-3) 事業計画コンペティションにおける評価目的のためにのみ提示される。本計画内容の全体若しくは一部を複製、再配布してはならない。本計画の受領者は、作成者の事前の書面による同意なく本計画内容を複製又は第三者に開示しないことに合意する。」

当フォーラム、事業計画コンペティションの参加予定者がアドバイザー、主催者及び/又は審査員に守秘義務契約への署名を求めた場合、主催者はこうした依頼については理解しますが、慣例及び実用性の観点から、AFCEF-3の一環として署名することはありません。

### 参加申込みと必要書類の提出

全ての提出物は電子媒体とします。個々のファイルサイズは容易に送受信できるよう配慮し、情報セキュリティと真正性のため、ファイルはPDF形式、財務モデルはエクセル形式で提出するものとします。

必要書類:

- ・ 参加申請書 (PDFファイル)
- ・ 事業提案書 (PDFファイル)
- ・ 事業データシート (エクセルシート)

### 3. 選考基準

#### 第一次選考: 事業提案書の提出

全応募者の中からCTI PFANが設定した下記の審査基準に基づき、約15案件が選考され、事業開発、事業計画の構成、デザインやプレゼンテーションに関する助言、指導を無償で受けることができます。

NO.	審査基準	配点
1	<b>価値提案とビジネスモデル:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 事業計画の主目的、事業の合理性が明確に説明されているか</li> <li>- 投資提案が明確に説明されているか</li> <li>- 商業化と収益化が可能か</li> <li>- ビジネス/プロジェクトモデルが明確になっているか</li> <li>- ビジネス/プロジェクトモデルの複製可能性とスケーラビリティ(拡張性)</li> <li>- 投資家にとって魅力的な提案となっているか</li> </ul>	15%
2	<b>市場理解及び分析:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 市場について十分な分析、考察がなされているか</li> <li>- 市場規模、傾向、障害や見通しなどについての分析と知識</li> <li>- 競争戦略や事業の強み、弱み分析</li> </ul>	10%
3	<b>経営・運営チーム:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 関連した経験や実績を有しているか</li> <li>- チームには事業化能力があるか</li> <li>- 営能力の潜在的な不足への対処法を用意しているか</li> </ul>	10%
4	<b>運営・実施計画:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- バリューチェーン(価値連鎖構造)が構築されているか</li> <li>- 出と入に関するロジスティックスが明確か</li> <li>- 製造活動の質や効率性について管理されているか、インプットを最終製品に変換する活動について詳細な分析がなされているか</li> </ul>	10%
5	<b>財務:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 資本支出、収益、経費の概観</li> <li>- 仮定に対する説明</li> <li>- 資金調達構造案について</li> <li>- 財務見通しとシナリオ分析</li> <li>- 出口戦略</li> <li>- 財務予測は、事業計画案に記された予測を正確に反映しているか</li> </ul>	15%
6	<b>リスク緩和戦略:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 主要なリスクと適切な緩和策が講じられているか</li> </ul>	10%
7	<b>環境や開発に対する利点:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 温室効果ガス(GHG)排出削減</li> <li>- その他の環境面、開発面における利点(雇用機会創出、健康促進、等)</li> </ul>	10%
8	<b>プロジェクトの成熟度:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクトの成熟度合いと事業化までに要する時間</li> <li>- これまでの成果</li> </ul>	5%
9	<b>拡張/複製可能性:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ビジネスモデルは拡張性があるか、また本業の成長や、複製の可能性を示しているか</li> </ul>	5%
10	<b>技術、製品、サービスの革新</b>	5%
11	<b>プロポーザルのプロフェッショナル性とプレゼンテーション:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 文書の構成とアピール性</li> <li>- 読みやすさ、理解しやすさ</li> </ul>	5%
計		100%

第一次選考では事業提案の成熟度ではなく、成功の可能性が重視されます。技術的に実現可能ではあるが、事業の方向性が確立されていない案件を特定することに関心が向けられます。またプロフェッショナル性においては劣るが、十分な支援を得られれば将来性があると思われる事業計画についても同様です。



**第二次選考:事業計画書草案**

第一次選考通過案件は事業開発と資金調達能力向上を目的としたワークショップに参加し、アドバイザーによる助言、指導のもと事業計画を更に発展させます。指導内容はフォーラムでの発表を想定し、各事業案件に求められる具体的要件に焦点をあて考案されます。

各チームは、指導期間中、ワークショップ後に事業計画書草案を提出しなければなりません。担当アドバイザーはフォーラムでの発表にふさわしいか否かについて評価します。事業計画書草案の評価及びアドバイザーの推奨を基に、案件は更に最終選考案件と準選考案件に振り分けられますが、投資家、審査員向けにフォーラムでプレゼンテーションを行う発表権は、最終選考案件にのみ付与されず。準選考案件は事業計画の更なる発展に向け継続的に個別指導を受け、フォーラムにて紹介されることとなります。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案及び事業計画	10%
2	事業計画実行のための準備状況	10%
3	市場分析及び競争優位性	10%
4	管理スキル	15%
5	技術上、運営上の実現可能性	15%
6	経済面での利点	15%
7	リスク緩和戦略	15%
8	産業エキスパートからの意見	10%
計		100%

最終選考のための審査基準は以下のとおりです。

本審査段階においては下記項目を満たしているかを考慮しつつ、事業計画を最終的に評価します。

- ・ 準備状況
- ・ 経済面での利点
- ・ 高い需要が見込める市場の特定
- ・ 競争優位性
- ・ 経営陣の姿勢及び/又は必要事項の明確な認識
- ・ 健全な投資構造と投資家のための潜在的出口戦略
- ・ 付随するリスク、脅威及び機会についての十分な考慮

**最終選考:フォーラムでの事業計画発表**

フォーラムでは、最多10件の最終選考案件が投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。審査は下記の基準に基づいて行われ、受賞者が決定します。

NO.	審査基準	スコア 1-10
1	市場の明確化及び知識	
2	製品またはサービスの明確化 - 価値提案 - 革新性と知的財産	
3	収益創出戦略、成長戦略の信頼性	
4	経営陣に対する信頼性及び実行計画(マーケティング計画と運営戦略)の達成可能性	
5	財務予測の信頼性 - 資産支出と仮定の信頼性 - 収益計画達成の可能性 - シナリオ分析の現実性	
6	競争優位性の識別、実行及び保護 - 主要リスクと機会の識別 - 知財の保護 - 競争環境に関する認識	
7	リスク緩和策の妥当性と有効性	
8	事業/プロジェクト成功のための重要要素へのフォーカス	
9	環境や開発に対する利点等	
10	投資家のための出口戦略の明確化とその可能性	
計		

事前審査と準備のため審査員にはフォーラムの数日前に事業計画書が配布されますが、当日の審査では主としてプレゼンテーションとその直接的インパクトに重点が置かれます。各々のプレゼンテーション後、審査員による質疑応答が続きます。



## 4. スケジュール

コンペティションのスケジュールは下記のとおりです。

段階	必要書類	提出期限	通知
1. 事業提案書の提出及び第一次選考	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加申請書</li> <li>事業提案書</li> <li>事業データシート</li> </ul>	2012年9月24日	2012年10月12日
2. 個別指導、事業計画プレゼンテーション及び最終選考	事業計画書草案	2012年12月10日	2012年12月21日
	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次事業計画書草案</li> <li>同 事業概要書</li> <li>事業データシート最終版</li> </ul>	2013年01月09日	
	プレゼンテーション資料の草稿	2013年01月18日	
3. フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終版事業計画書</li> <li>同 事業概要書</li> <li>更新済事業データシート</li> </ul>	2013年02月13日	
	最終版プレゼンテーション資料	2013年02月22日	

### 第一段階：事業概要書の提出

参加申請書、事業提案書、エクセル事業データシートは2012年9月24日(月)24時(日本時間)までに [info@cti-pfan.net](mailto:info@cti-pfan.net) および [sasaki@icett.or.jp](mailto:sasaki@icett.or.jp) 宛てに提出してください。必要書類のテンプレート並びに提案書作成のためのガイドラインは、以下のサイトからダウンロードが可能です。 [[http://www.cti-pfan.net/events\\_detail.php?eventsid=44](http://www.cti-pfan.net/events_detail.php?eventsid=44)].

一次選考通過チームに対しては2012年10月12日(金)までに通知します。通知直後に関係実施機関は選考通過者に担当アドバイザーを割り当て次段階に向けて準備に入ります。

### 第二段階：個別指導と事業計画書の作成

本段階では投資家に提示可能な事業計画書を作成するために、CTI PFANの担当アドバイザーが一次選考通過チームに個別指導を実施します。個別指導は無償で最長4日間(32時間)提供されます。

一次選考通過チームは、2012年12月10日(月)24:00(日本時間)までに、事業計画書草案を提出するものとします。計画書には最低限下記詳細を含むことが求められます。

1. 価値提案とビジネスモデル
2. 市場理解、市場分析
3. 組織体制
4. 運営・履行体制
5. 会計・財務
6. リスク緩和策・管理
7. 出口戦略

事業計画書作成のためのガイドラインはワークショップで入手可能です。

### ワークショップ

一次選考通過チームは、2012年11月14日にシンガポールで予定されている事業開発ワークショップへの参加が認められます。ワークショップへの参加は無料です。

提出された事業計画書草案と担当アドバイザーの推奨により、最多10チームまでが最終選考に残りシンガポールで開催されるフォーラムで投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行います。フォーラム参加においては、各チームに対して1名分の宿泊費、旅費が支給されます。一次選考を通過した全チームがフォーラム当日までの間、継続して個別指導を受けることができます。

最終選考チームは、2013年1月9日(水)24:00(日本時間)までに第二次事業計画書案、同事業概要書並びに最終版の事業データシートを提出するものとします。

最終版事業計画書及び2-3ページ内の事業概要書の提出期限は、2013年2月13日(水)です。これらの提出物は、2013年2月15日(金)に審査員に送付されます。

### 第三段階:フォーラム

2013年2月20日-22日に、シンガポールで開催されるフォーラムの詳細スケジュールは以下のとおりです。

#### 20日:準備ワークショップ

ワークショップは、CTI PFAN担当アドバイザーと投資エキスパートによる指導で実施され、22日の本番を想定した模擬プレゼンテーションを行う機会を与えられます。最終選考チームは最終版のプレゼンテーション資料を完成させます。

#### 22日:ファイナンスフォーラム

最終選考チームは、投資家向けに15分以内のプレゼンテーションを行います。このプレゼンテーションは当該事業に関心を持つ投資家並びにCTI アジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を選考する審査員向けに行われます。

審査結果は同日夕刻に発表され、表彰式においてアワードが授与されます。

コンペティションの第三段階に参加した全チームがこの表彰式に招かれ、投資家と非公式に交流を深めることができます。第二段階の選考に漏れた準選考チームも実施関係機関の裁量によりフォーラムでのポスターセッションに参加することができます。

## 5. 産業エキスパート/アドバイザー

### 一次選考通過チームに対する支援:

- ・ 最長4日間(32時間)、又は関係実施機関と担当アドバイザー間で協議された金額の個別指導
- ・ 個別指導は、CTI PFANネットワーク(参照 [www.cti-pfan.net](http://www.cti-pfan.net))に参画する産業エキスパート、コンサルタント、アドバイザーにより実施されます。担当するアドバイザーはクリーンエネルギー市場において国際的にもアジア地域でも豊富な経験を有しています。
- ・ 個別指導は電子メールや電話会議によって実施しますが、コンペティションの第二、第三段階における直接面談を確保するための資金も用意されています。更に、ワークショップではグループ指導も提供されます。

## 6. 審査員

審査員は地元の事業環境に精通した産業エキスパート、投資家等によって構成されます。適格性と客観性確保のため、また利害の衝突を回避するため、審査員は事業計画コンペティション参加プロジェクトの選考終了後に指名、発表されます。

## 7. 表彰

CTI アジア・クリーン・エネルギー・ファイナンス・アワードは審査基準に最も適した3事業案件に授与されます。フォーラムに参加した全チームは、事業計画促進と資金確保に向け継続してCTI PFANの支援を受けるため、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインに導入されます。また、表彰された3案件は最終段階に向けた事業計画の進展、資金調達、または商談促進のため更なる集中個別指導を受け、最終的には他のフォーラムや、CTI PFAN又はスポンサーや協力機関が催すイベントにて紹介されることになります。

## 8. よくある質問

### 1. AFCEF-3 事業計画コンペティションはどのように開催されるのですか。

- ・ CTI PFANアジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFCEF-3) 事業計画コンペティションは、気候変動防止技術イニシアティブ(Climate Technology Initiative, CTI)、CTI 民間資金調達支援ネットワーク (CTI Private Financing Advisory Network, CTI PFAN)、米国国際開発庁 (U.S. Agency for International Development, USAID)、公益財団法人 国際環境技術移転センター (International Center for Environmental Technology Transfer, ICETT)がスポンサーとなり開催されます。
- ・ 事業提案書、事業計画書、その他提出物の評価はCTI PFANネットワークのメンバーとアジア域内外の産業界からの選出者によって行われます。これらの個人の多くはコンペティションに参加するチームの個別指導にあたります。CTI/ICETTは各段階における最終選考チームに対して、評価チームの推奨に基づき最終承認を与えます。
- ・ シンガポールで開催されるフォーラムは、ドーン・コンサルティング (Dawn Consulting)、クリーンエネルギー・ソリューション・インターナショナル (CleanEnergy Solutions International: CSI)、PPLインターナショナル (PPL International)、シンガポール持続可能エネルギー協会 (Sustainable Energy Association of Singapore, SEAS)、ReExキャピタル・アジア (ReEx Capital Asia) 等の協力のもと開催されます。
- ・ 5名の審査員はフォーラム二日目に各チームのプレゼンテーションを聞き、CTI アジア・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を決定します。

### 2. 事業提案書、事業計画、およびプレゼンテーション作成のためのガイドラインはありますか。

はい。<http://www.cti-pfan.net/resources.php?id=11> よりダウンロードできます。

### 3. 個別指導サービスはどのように手配されるのでしょうか。

実施関係機関が参加チームの必要要件を考慮した上で、適切なアドバイザーを各チームに割り当てます。指導料は実施関係機関が負担します。

### 4. 諸費用及び旅費の負担について教えてください。

- ・ AFCEF-3への応募、参加のための準備、それに伴う成果物の提出や通信に関わる費用は、全てチームの負担とします。
- ・ 個別指導を行うにあたり、事前合意されている第三者費用は3の説明にある通りです。
- ・ シンガポールでのフォーラムに招待されている場合、その宿泊費、旅費については最終選考に残ったチームと相談の上で実施関係機関が手配します。

### 5. 事業計画コンペティションに参加することのメリットについて教えてください。

- ・ 一次選考通過チームは担当アドバイザーの指導を受けることにより、事業計画の質を高め、投資家向けのプレゼンテーションに備えることができます。
- ・ 個別指導にあたる者は特に関連市場、事業計画の準備や資金調達において豊富な知見を有しています。全ての参加者は彼らの知識と経験を享受できるメリットがあります。
- ・ 一次選考通過チームは専門家の徹底した指導、情報、知見を無償で享受でき、事業計画開発とプレゼンテーションスキルの向上につなげることができます。
- ・ フォーラム二日目にはアジアのクリーンエネルギー分野で活躍する投資家が集います。投資家とのネットワーキングの場が準備され、事業開発者は投融資を受ける機会を得ます。個別面談は実施関係機関がプレゼンテーションの結果、必要に応じて進めていきます。
- ・ 事業計画コンペティションに提出された全ての事業提案書について、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインへの導入が考慮されます。導入された事業は事業開発と事業計画プレゼンテーションに対する支援及び助言を継続して受け、更にCTI PFANの投資家ネットワークに紹介されることになります。

### 6. プレゼンテーションにおいて、事業計画を補足するために他の手段を使用しても良いでしょうか。

第二次選考においては事業計画内容を補足するためビデオなど他の手段を使用することもできます。しかし、シンガポールでの審査員向け最終プレゼンテーションで各チームに割り当てられた時間は限られており、審査においては事業計画の信頼性をどれだけ審査員に納得させたかという観点から評価が行われます。このため、プレゼンテーションのフォーマットや時間には細心の注意を払い、補足資料として、必要枚数以上のPowerPointスライド(又は他の媒体)は使用しないようにしてください。

## 9. 関係実施機関

今回、共催した機関の概要は次のとおりです。

### 気候変動防止技術イニシアティブ (Climate Technology Initiative, CTI):

CTIは1995年の国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 第1回締約国会議 (COP1) において、国際エネルギー機関 (IEA) / OECD加盟国及び欧州委員会によって設立された、多国間による国際連携イニシアティブで、2003年にはIEAの実施協定として位置づけられました。CTIの意思決定は、加盟国代表メンバーで構成される執行委員会 (CTI Executive Committee) において行われ、現議長国にはスウェーデン、副議長国には日本及び米国が就任しています。プログラム・マネージャーは東洋大学の久留島守広教授に、また、国際事務局は (公財) 国際環境技術移転センターに委任されています。加盟国はオーストラリア、オーストリア、カナダ、フィンランド、ドイツ、日本、ノルウェー、韓国、スウェーデン、英国、米国の11ヶ国。 [www.climatetech.net](http://www.climatetech.net)

### CTI 民間資金調達支援ネットワーク (Climate Technology Initiative Private Financing Advisory Network, CTI PFAN):

実効性の高い取組みとして期待されるCTI PFANプログラムは、UNFCCCの技術移転専門家グループ (EGTT) との協力でCTIにより設立された官民パートナーシップであり、クリーンエネルギー/再生可能エネルギー/エネルギー利用効率化プロジェクトに携わる事業開発者及び起業家による資金調達機会を拡げ、開発途上国及び経済移行国への技術移転を促進します。CTI PFANネットワークは民間金融機関、プロジェクトファイナンス専門家、非営利組織、多国間組織、政府組織から構成されており、開発途上国における気候変動対策プロジェクトに係る投資、ファイナンスサービス提供のノウハウを参加前提条件として有しています。CTI PFANはプロジェクトのスポンサー及び開発者に対し様々なサービスを提供し、民間直接投融資の確保を支援します。 [www.cti-pfan.net](http://www.cti-pfan.net)

### 米国国際開発庁 (United States Agency for International Development, USAID):

アメリカ合衆国のほぼすべての海外援助を行う政府組織で、長期且つ公正な経済成長の促進を目指しています。持続可能なエネルギー・イニシアティブ、保健衛生、民主化、紛争解決、人道支援などに焦点をあてた経済成長、農業開発、貿易振興を援助の柱としています。USAIDはワシントンDCにある経済成長・農業・貿易局 (Bureau for Economic Growth, Agriculture, and Trade, EGAT) とタイ・バンコクに拠点を置くアジア地域開発ミッション (Regional Development Mission for Asia, RDMA) を通じてCTI PFAN を支援しています。RDMAはアジア地域におけるCTI PFANのコーディネーターです。 [www.usaid.gov](http://www.usaid.gov)

### 公益財団法人 国際環境技術移転センター (International Center for Environmental Technology Transfer, ICETT):

1990年に我が国の環境保全システムを円滑に移転していく機関として産・官・学の協力によって三重県四日市市に設立されました。環境関連技術及び環境保全策等を開発途上国に移転することを目的とします。そのために、研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発などの取り組みを行っています。ICETTには2003年からCTIの国際事務局が設置されCTI PFANの組織運営に必要とされる支援業務も遂行しています。本フォーラムは経済産業省の支援によりICETTが実施している「地球環境国際研究推進事業」の一環として開催されます。 [www.icett.or.jp](http://www.icett.or.jp)

### ドーン・コンサルティング (Dawn Consulting):

独立系の企業財務コンサルティング専門会社で、ベンチャーキャピタル、プライベートエクイティ、プロジェクトファイナシング、ワーキングキャピタルファイナシング、海外直接投資、対外商業借入 (ECB)、デューデリジェンス、トランザクションストラクチャリング、メンタリング及び企業戦略コンサルティングを対象としています。

ドーン・コンサルティングは、専門的な知識を介して、企業が抱える財務的課題の解決に協力しています。また、内在する顧客ニーズとビジネスの経済基盤に焦点を当てることにより、企業が戦略上の仮定を再考し、財務レバレッジの最適化を支援します。

ドーン・コンサルティングは鍵となる成長・強化のために負債資本比率の最適化を可能とし、キャパシティビルディングに投資して、新たな市場への参入とプロダクトミックスの再定義に必要な追加のリソースを入手できる構造を提案します。過去6年間にドーン・コンサルティングは、インドとアフリカにおける再生可能エネルギーおよび省エネルギープロジェクトの指導をしてきました。これらのプロジェクトは投資家会議で多くの優秀ビジネスプラン賞を受賞しました。プロジェクトの指導は、CII ニューベンチャーズ (世界資源研究所とUSAID) インド、Eco Asia、国連開発計画 (UNDP)、CTI PFANアジアおよびCTI PFANアフリカの下で行われてきました。プロジェクトは、再生可能エネルギー、エネルギー効率改善、グリーン建築資材、エコツーリズムと廃棄物管理等です。最近では、AFRICEF-2において、ボツワナにおけるバイオガスプロジェクトおよびルワンダにおける大規模なバイオディーゼル (ジャトロファ栽培) プロジェクトを指導しました。AFRICEF-2においては、東アフリカ諸国から提案されたエネルギー効率改善と再生可能エネルギープロジェクト30件をレビューしました。

ドーン・コンサルティングは、過去12年間にわたり、製造、エンジニアリング、不動産、ファイナンスサービス、インフラ、鉱業、及びIT、宿泊飲食業などのサービス業等、様々な産業においてインド全土および海外の企業にサービスを提供しています。

[www.consultdawn.com](http://www.consultdawn.com)



**クリーンエネルギー・ソリューション・インターナショナル(CleanEnergy Solutions International, CSI) [旧名:インターナショナル・リソース・グループ - フィリピン(International Resources Group - Philippines)]:**

エネルギーと環境関連のローカルコンサルティング会社として、2000年7月に設立されました。再生可能エネルギー(太陽光、水力、バイオマス、風力、地熱を含む全分野)、エネルギー効率改善、電力、環境分野を専門とするローカルおよびインターナショナルな専門家グループからなるCSIは、フィリピン及びアジア地域の近隣諸国の事業開発者に、技術およびマネジメント面のアドバイスを提供しています。

CSIは、市場評価、プロジェクト設計、プレフィージビリティスタディおよび詳細フィージビリティスタディの実施、ビジネスプランの開発、資金調達支援、プロジェクトの実施および管理、プロジェクトのモニタリングおよびレビュー、トレーニングおよびキャパシティビルディング等に関するコンサルティングサービスを提供しています。

CSIの主なクライアントは、国際的な公的金融機関、国内及び国際援助機関、外国政府省庁、主要公益企業、独立電力生産者、国内および国際研究機関、財団等です。

CSIは、USAIDの資金でECOアジアクリーン開発プログラムがフィリピン、インドネシア、中国、インドに組織し、管理していた気候変動防止技術イニシアティブ民間資金調達支援ネットワーク(CTI PFAN)のフィリピン事務局でした。[www.cleanenergy.com.ph](http://www.cleanenergy.com.ph)

**シンガポール持続可能エネルギー協会(Sustainable Energy Association of Singapore, SEAS)**

再生可能エネルギー、エネルギー効率及び炭素開発・取引事業に取り組む企業や金融機関が協力して、有益なプロジェクトを共に実施していくための利害を代表し、共通の基盤を提供しています。本協会は業務の中心を、キャパシティ・ビルディング、テクノロジー強化、市況情報まで広げ、企業と市場の発展及び学習・訓練基盤を介して、メンバーが当該地域で持続可能な成長を実現する手助けをしています。SEASは、製品とソリューションの開発・輸出をするグローバル・クリーン・エネルギー・ハブになるというシンガポールのビジョンの実現化の支援において、戦略的な役割を担っています。また、SEASはメンバーにプロジェクトの可能性を与える地域のクリーン・エネルギー業界団体、多国籍企業、若しくは主要政府機関と戦略的な協力関係を構築しています。[www.seas.org.sg](http://www.seas.org.sg)

**ReExキャピタル・アジア(ReEx Capital Asia):**

シンガポールに拠点を置く独立系のクリーン・エネルギーコンサルティング専門会社で、アジア太平洋全域において投資業務とコンサルティングサービスを提供しています。資金調達を本業とし、再生可能エネルギー基盤、バイオ燃料生産設備、エネルギー効率プロジェクト、クリーン・テクノロジーとエコ・プロダクト/サービス企業のための投資機会を創り、取引を構成し、資金(借入/株式)調達を支援しています。また、政策立案者、投資家、新興企業、事業開発者、その他多くの企業への助言もしてきました。チームは、独立した戦略的アドバイスの提供、投資機会の構築、事業計画と財務モデルの立案、フィージビリティ・スタディ及びデュー・デリジェンスのための技術的、環境的、商業的、財務的な実行可能性評価等において長年の経験があります。[www.reexasia.com](http://www.reexasia.com)

# AFCEF-3 Application Form



I /We, hereby indicate our interest to participate in the CTI PFAN Asia Forum for Clean Energy Financing (AFCEF-3) Business Plan Competition. In submitting this application we acknowledge the general terms and conditions of the Business Plan Competition as outlined in the guidelines.

Team Name: \_\_\_\_\_

Project Proposal Title: \_\_\_\_\_

Project Location: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Signed on behalf of the team

Signature: \_\_\_\_\_

Name: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_  
(Print)

For more information about the competition details, please contact:

[info@cti-pfan.net](mailto:info@cti-pfan.net)  
[sasaki@icett.or.jp](mailto:sasaki@icett.or.jp)